

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあんず		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 15日		～ 2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人 (児発5人) (放デイ32人)	(回答者数) 22人 (児発3人) (放デイ19)
○従業者評価実施期間	2024年 7月 15日		～ 2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	その日の出来事について連絡帳や送迎時や必要なら電話などで、保護者様に事細かに伝え情報共有している。	スタッフ間でも子供のその日の様子を共有して保護者様に細かく伝えられる様にしている。	スタッフ同士のコミュニケーションや連携を強化してスムーズに情報共有していき、誰に聞いても正確に保護者様に伝えられるようにしていく。
2	その日の子供の特性やニーズに合わせて、いろいろな活動を話し合い決めている。	保護者様や子供の意見を取り入れて、スタッフと話し合っている。	過去にやったことのある活動などは、良かった点・悪かった点をあげて、ブラッシュアップや変化させて、常に子供が新鮮な気持ちで取り組めるように工夫していく。
3	スタッフ同士なんでも意見が言えるような風通しの良い環境を整えており、子供たちの小さな気づきに対してすぐに報告して相談して共有し対応できる様にしている。	その日にあった出来事や気づいたことは帰りの時やちょっとした時間などで話し合ったりし、必要ならノートや朝礼などで情報共有している。	その日の話し合いで気になった事や必要だと感じたときは、ミーティング等を開くなど全スタッフで意見交換のできる様にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ない。	保護者同士が交流をする機会がほぼない。	保護者様が交流できる機会を開催し、多くの保護者様が参加できるように計画を立てる。
2	定期的にブログなど上げているが、あまり活用できていない。	ブログを載せているのを、あまり周知されていない。	ブログを上げた時など、保護者様に告知をしたりして、周知させていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスあんず (児童発達支援)

公表日 2024年 9月 20日

利用児童数 5人

回収数 3人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1	0	0		
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	3	0	0		児童館に行ったり、系列事業所と合同で活動ができるように企画・計画をしていく
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	2	1	0		保護者も参加でき、情報交換ができるようなことを企画・計画をしていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	3	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	1	0		保護者も参加でき、情報交換ができるようなことを企画・計画をしていく。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	0	0			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	2	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスあんず（児童発達支援）		2024年 9月 20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		絵や写真等を利用しわかりやすく、伝わりやすいように工夫して伝達していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日掃除のときに床、おもちゃ、子供の手の触れるところを消毒している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	学習、体調不良など、状況に応じてスタッフと相談室を使う	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	管理者等に意見や相談など伝えやすい雰囲気を作っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		検討中
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修やミーティングをしたら、ほかのスタッフにも情報共有できるように伝達研修をしている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	各自のファイルにまとめ、今日の様子を書く所にも、目標を記載してありみえるようにしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	スタッフと子供の様子について話したり、意見交換をしながら、作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	スタッフと子供の様子について話したり、意見交換をしながら、検討している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	各自のファイルにまとめ、今日の様子を書く所にも、目標を記載してありみえるようにして情報共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	スタッフ同士意見を出し合いながら、立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	定期的に立案し、意見を出し合いながら決めている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	スタッフ同士で意見交換し作成した計画書に元図いて支援している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼や連絡ノートで情報共有し伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	帰りの時などちょっとした時間の時に振り返りや、意見交換を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	療育ノート、個別ファイル、連絡ノートなどに記録し共有して、意見交換などをして改善等につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	保護者と定期的に連絡を取り合い、スタッフとも話し合い作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	協力医療機関や系列機関と連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		児童館に行ったり、系列事業所と合同で活動ができるように企画・計画をしていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時や連絡帳や電話などで伝え合い、スタッフで話し合い情報共有し理解している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	送迎時や連絡帳や電話などで保護者と情報共有や話し合いをしたりしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	面談の時に説明し、計画書に署名をもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	送迎時や連絡帳や電話などで保護者と話しあっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		保護者が交流できる機会を開催し、多くの保護者が参加できるように計画を立てる。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談があった場合、すぐスタッフに情報共有し、迅速に対応できるようにしている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的に普段の様子をブログに挙げている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	情報漏洩しないように、出したらすぐ元の位置戻すように配慮していく。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個々にあった伝え方をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		検討し、計画を立てていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的にミーティングをしたり、避難訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年2回の避難訓練と年1回の水害避難を行い、BCPの会議を定期的に開いている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	契約時のアセスメントシートや保護者との情報共有で確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	契約時のアセスメントシートや保護者との情報共有で確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットを共有し、話し合い、ファイルで閲覧できるようにしてある。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に虐待防止委員会を開催したり、研修をしたら、伝達研修で情報共有している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	契約時に説明している。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスあんず (放課後等デイサービス)

公表日 2024年 9月 20日

利用児童数 32人

回収数 19人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	・日々1日の様子を細かく伝えてくれて安心できます。	スタッフには児童のちょっとした変化に気づき伝え、保護者に安心できるように取り組む
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	5	1	7		児童館に行ったり、系列事業所と合同で活動ができるように企画・計画をしていく
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	1	8	・あれば参加してみたいです。	保護者も参加でき、情報交換ができるようなことを企画・計画をしていく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	5	6	・保護者同士の交流や兄弟同士の交流があると嬉しいです	保護者も参加でき、情報交換ができるようなことを企画・計画をしていく。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	3		
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	4	0	7		あんずのホームページ、アメブロに載せているのを周知させるように伝えていく
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	5		保護者に周知してもらうように再度ちゃんと説明し周知してもらう
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	1	7		年に2回避難訓練をしブログや連絡帳などで様子を伝えていく
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	・毎日通いたいと、日々言っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	1	・行く前は『え〜っ』というが、満足して帰ってきます。 ・大好きです。	子供が楽しく通えるようにいろいろな活動やイベントを企画・計画をしていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	・夏休みなどで、特別なイベントがあると喜びます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスあんず（放課後等デイサービス）				公表日	2024年 9月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		絵や写真等を利用しわかりやすく、伝わりやすいように工夫して伝達していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日掃除のときに床、おもちゃ、子供の手の触れるところを消毒している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	学習、体調不良など、状況に応じてスタッフと相談室を使う		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	管理者等に意見や相談など伝えやすい雰囲気を作っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		検討中	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修やミーティングをしたら、ほかのスタッフにも情報共有できるように伝達研修をしている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	各自のファイルにまとめ、今日の様子を書く所にも、目標を記載してありみえるようにしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	スタッフと子供の様子について話したり、意見交換をしながら、作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	スタッフと子供の様子について話したり、意見交換をしながら、検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	各自のファイルにまとめ、今日の様子を書く所にも、目標を記載してありみえるようにして情報共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	スタッフ同士意見を出し合いながら、立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	定期的に立案し、意見を出し合いながら決めている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	スタッフ同士で意見交換し作成した計画書に元図いて支援している。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼や連絡ノートで情報共有し伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	帰りの時などちょっとした時間の時に振り返りや、意見交換を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	療育ノート、個別ファイル、連絡ノートなどに記録し共有して、意見交換などをして改善等につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	保護者と定期的に連絡を取り合い、スタッフとも話し合い作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	会話の中で選択肢を作ったりなどして、選びやすい状況を作ったりしフォローしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3	児発管や管理者等その時の状況で会議に出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	協力医療機関や系列機関と連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	保護者と連絡したり、学校からの下校表を見せてもらったりして、調整している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		保護者を通じて情報共有しているが、必要に応じて連絡をし情報共有していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	必要に応じて情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	児童館に行ったり、系列事業所と合同で活動ができるように企画・計画をしていく	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		機会があれば調整し参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時や連絡帳や電話などで伝え合い、スタッフで話し合い情報共有し理解している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	送迎時や連絡帳や電話などで保護者と情報共有や話し合いをしたりしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	面談の時に説明し、計画書に署名をもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	送迎時や連絡帳や電話などで保護者と話しあっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	8		保護者が交流できる機会を開催し、多くの保護者が参加できるように計画を立てる。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	すぐスタッフに情報共有し、迅速に対応できるようにしている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的に普段の様子をブログに挙げている。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	情報漏洩しないように、出したらすぐ元の位置戻すように配慮していく。		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個々にあった伝え方をしている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		検討し、計画を立てていく。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的にミーティングをしたり、避難訓練を実施している。	
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年2回の避難訓練と年1回の水害避難を行い、BCPの会議を定期的に行っている。	
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時のアセスメントシートや保護者との情報共有で確認している。	
		49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	契約時のアセスメントシートや保護者との情報共有で確認している。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0			
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1			
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットを共有し、話し合い、ファイルで閲覧できるようにしてある。		
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に虐待防止委員会を開催したり、研修をしたら、伝達研修で情報共有している。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	契約時に説明している。			